

1年次 産業社会と人間

金融教育 ライフプランを考えよう

ライフイベントからお金のことを考えました

5月9日の1年次「産業社会と人間」では、ソニー生命保険株式会社のライフプランナーの方々を講師にお迎えし、ライフイベントとそれに伴い必要となるお金のことについて学びました。「30歳の自分を考えよう」と題し、仮想の4人家族をロールモデルとして「人生のどんな時期にどんなイベントがあり、それにはどんな費用が掛かるか？」というところから、少し先の自分の人生とお金について考えていきました。シミュレーション画面で必要なお金や足りないお金がすぐにわかり、どうやって足りない部分を補っていけばよいかを考える中で、保護者の方々の苦勞を垣間見ることもできたかと思えます。今回の講義が、これからのライフプランや今の自分にとって、何が必要かを考えるきっかけになればと思います。



総合学科の必修科目である「産業社会と人間」では、仕事や社会の変化について知ることから、自分の生き方やどのように社会に貢献していくかを考えていきます。